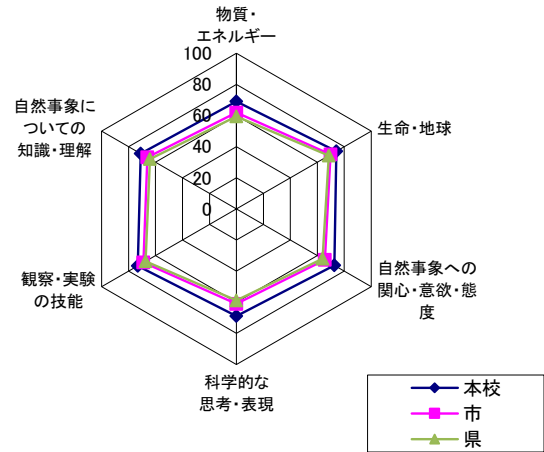


# 宇都宮市立瑞穂野北小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	69.0	61.9	59.4
	生命・地球	74.1	69.8	68.5
観点	自然事象への関心・意欲・態度	72.6	65.6	63.9
	科学的な思考・表現	68.9	61.0	58.8
	観察・実験の技能	73.2	69.0	67.4
	自然事象についての知識・理解	71.1	66.1	64.2



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>平均正答率は市の平均より高い。</p> <p>○「光の性質」、「風やゴムのはたらき」、「物の重さ」のそれぞれの内容について、よく理解できている。</p> <p>○実験の結果から考察して文章にまとめたり、「ものは形を変えても重さは変わらない」ことについて説明したりすることができている。</p> <p>●「磁石の極の性質」を十分理解できていない。</p> <p>●「電気のはたらき」については、市の平均を上回ってはいるが、正答率は50%前後であり、理解は十分ではない。</p>	<p>・磁石や電気など目に見えない物の理解は難しいので、実験や観察を通して実感を伴って理解し、その後プリントなどで知識を整理できるようにする。</p> <p>・「磁石」や「電気」など、実感にくい内容について、生活の中でそれらの性質が使われている物や場面を紹介しながら授業を進めるなど、身近な場面と関連させながら自分のこととして捉えられるようにする。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は市の平均より高い。</p> <p>○「昆虫の体のつくりや育つ順序」、「太陽と影の動き」、「温度計や遮光板の使い方」のそれぞれの内容について、よく理解できている。</p> <p>●「植物の育つ順序」、「方位磁針の使い方」を正しく理解できていない。</p> <p>●文章が長い問題や、いくつかの資料を見比べるような複雑な問題の内容を正しく把握できていない様子が見られる。</p>	<p>・観察などで得られた体験的な知識を、問題に答える活動などを通して統合・整理し、知識として定着させる。</p> <p>・「磁石のはたらき」の学習と関連させて、方位磁針の仕組みや使い方を理解できるようにする。</p>